

■ そけいヘルニア（脱腸）

「鼠径（そけい）」部とは、脚の付け根の部分のことをいい、「ヘルニア」とは、体の組織がはみ出した状態をいいます。

「鼠径部ヘルニア」とは、本来ならお腹の中にあるはずの腹膜や腸の一部が、鼠径部の筋膜が弱くなって筋肉の隙間から皮膚の下に出てくる病気です。俗に、「脱腸」とも呼ばれています。



鼠径部ヘルニアは加齢により筋膜が弱くなることが原因とされています。下記に当てはまる人も、筋膜が弱くなりやすいため注意が必要です。

- 重たい物を持ち上げる、立ち仕事の多い方
- 便秘症や前立腺肥大の方
- よく咳をする方
- 肥満や出産後の方
- 喫煙する方



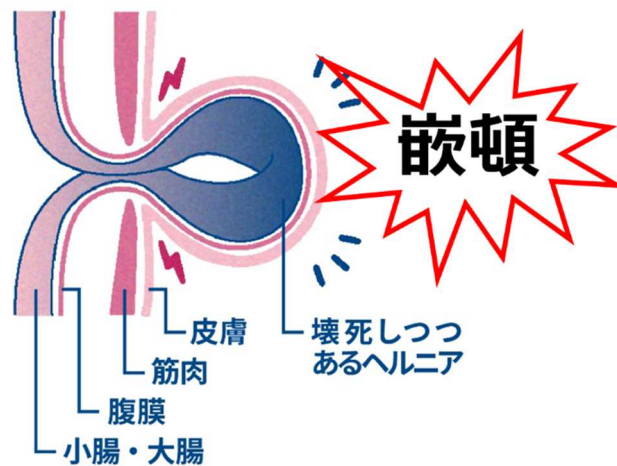


■ そけいヘルニアの症状

立った時やお腹に力を入れた時に鼠径部の皮膚の下に腹膜や腸の一部などが出てきて柔らかい膨らみを感じます。指で押さえたり横になるとその膨らみは引っ込みます。

膨らみが急に硬くなったり、膨れた部分が押さえても引っ込まなくなることがあり、お腹が痛くなったり、吐いたりすることもあります。

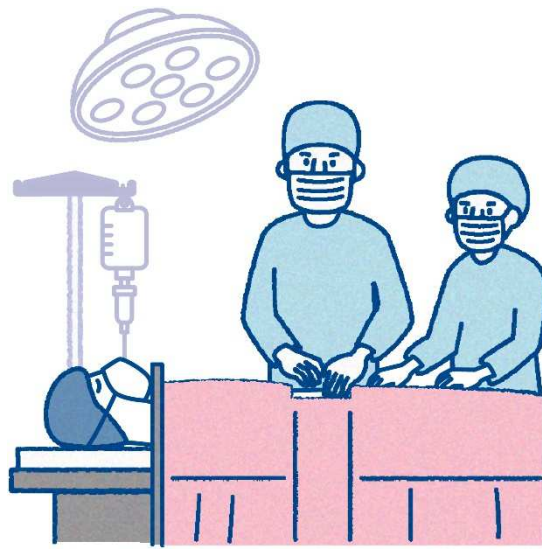
これをヘルニアの嵌頓（かんとん）といい、急いで手術をしなければ、数時間で腸が壊死し（腸が腐る）、命にかかわることもあります。



■ そけいヘルニアの手術方法

当院では鼠径部切開法（オンレイ法）と腹腔鏡手術（TAPP法）を行っています。

術前と術後を合わせて4-5日の入院です。



ヘルニア外来

ヘルニア外来は毎週水曜日の午後です。事前にかかりつけ医経由での**予約**が必要です

		月	火	水	木	金
外科	午前					
	午後			ヘルニア外来		

そけいヘルニアのさらに詳しい情報については下記ホームページをご覧ください

[鼠径部ヘルニア（脱腸）の情報サイト - そけいヘルニアノート \(https://www.hernia.jp/\)](https://www.hernia.jp/)